



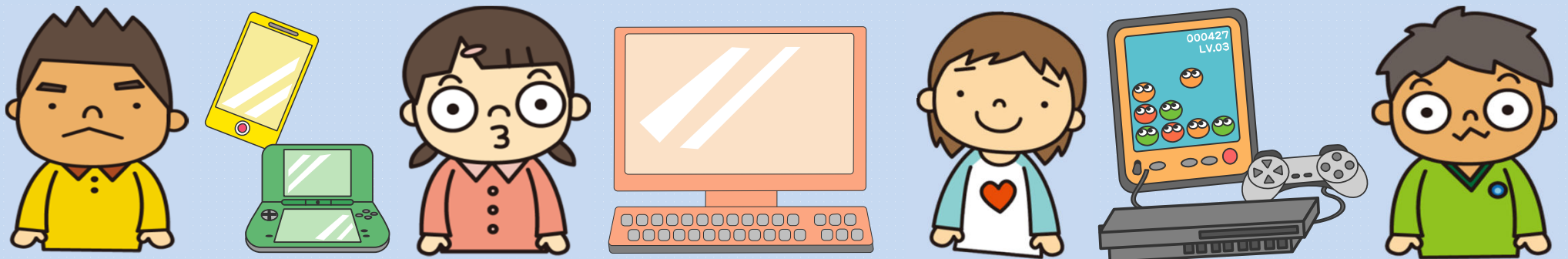
NPO法人 浜松子どもとメディアリテラシー研究所



第3回Grafsec-J 全国大会

平成27年度Grafsec-J 助成事業の成果発表

未就学児を取り巻く関係者を対象とした
講座研修の企画・運営事業





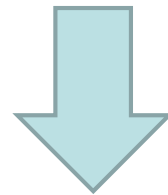
【メリ研のスタンス】

- 教えない、押し付けない
- 子どもの世界(事実)を正しく知り、認め、判断する
- 一人ひとりが考え、つながり、行動する

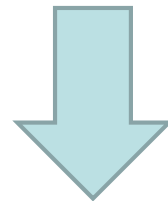
啓発活動・講座は・・・
メディアや自分がおかれている状況を
客観的にとらえ、気づき、考え、
行動するきっかけとなる場づくりである

【事業テーマ設定の背景】

- 未就学児のデジタル機器利用の増加と、課題認識の広がり
- 保護者の漠然とした不安
- SNSの活用などによる保護者自身のトラブル
- 未就学児の保護者や保育士・保健士など対象の講座は少数



未就学児保護者や、子育てをサポートする役割を持つ保育士・保健士などを対象に、「ネット安全安心啓発講座」を実施



未就学児保護者の不安解消や学びの場として



【事業の概要】

対象者：未就学児の保護者、保育士、保健士、行政職員など
(幼稚園・保育園・子育て広場や子育てサークルの保護者)

募集：講座開催を希望する団体

会場：団体が希望する会場

時間：1.5～2時間

講師：浜松子どもとメディアリテラシー研究所

【講座実施団体】

- 掛川市保健福祉部 保健士保育士研修会
- (株)NOKIOO 社員研修会
- 子育て広場「くれよんママ」子育て研修会

【講座プログラム】

- ☆子ども達の現状と課題
- ☆インターネットのしくみやメリット・デメリット
- ☆トラブル事例
- ☆法律・ガイドラインやフィルタリング
- ☆利活用のポイントやヒント



掛川市保健福祉部
保健士保育士研修会



(株)NOKIOO
社員研修会



子育て広場
「くれよんママ」
子育て研修会



【事業のねらいと成果（アンケートより）】

●初めて触れる機会にコントロールする

これから使うようになる物を、親が見て考えて伝えていくことの大事さを実感した。

●親がロールモデル、私は？

自分も今の高校生と同じくらいの感覚でネットを使っていたかも。

乳幼児健診では、テレビの時間等を指導する立場なので、まずは自身から見つめ直す。親の姿を見て子供は自然と覚える、にハッとしました。人に言う前にまず自分!と思った。

●小中学生の事例から、今後の子育てをイメージする。

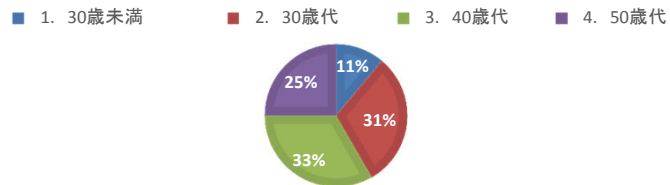
自分だけでなく、これから利用者になる子どものことを考えるきっかけになった。自分の子どもがスマートフォンを持つ頃が非常に心配になった。

●子育て経験の共有から、戸惑いや不安を解消

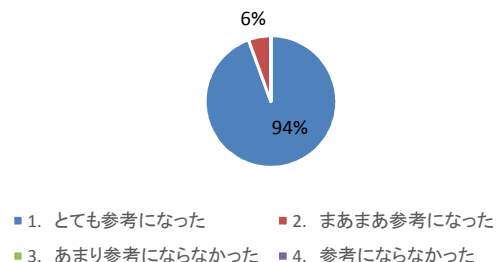
苦手な内容かなと思ったが、わかりやすい説明で良かった。まずは家へ帰って家族に話すことから始めたい。

【事業結果と課題】

まとめ
Q1: 年齢は？



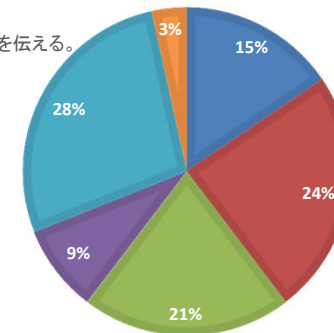
まとめ
Q2: 本日の講座の内容はいかがでしたか？



まとめ

Q3: 本日の講座を受講して新たに実践したいこと、改めて実践したいことは？(複数回答可)

1. パソコン・スマートフォン等にフィルタリングをかける。
2. パソコン・スマートフォン等の使い方について家族で話し合う。
3. パソコン・スマートフォン等の使い方について約束事などを決める。
4. 携帯電話やパソコン・スマートフォン以外のインターネットに接続できる端末 (タブレットやゲーム機)などを使ってみる。
5. 家族や地域の人へ講座の内容を伝える。
6. (その他自由記述)



●時間や回数

すごく興味のある内容で、もっと聞きたかった。
短い時間で残念だった。

●具体的な内容

検診や相談等の場面でどう伝え指導に活かしていくか、具体的内容を聞きたかった。
フィルタリングの具体的な方法を知りたい。

●リテラシー？モラル？

子どものリテラシーは高く、そこに制限をかけるのはかなり難しいと感じている。やはり、道徳や倫理感などを教育するしかないと思った。



NPO法人 浜松子どもとメディアリテラシー研究所



- 今回の事業で得られた情報やデータを今後の講座に反映し、プログラムや情報の更新を図る。
- さまざまなセクターとのネットワークと連携し、また情報交換や議論を行い、さらに啓発活動を広げる。
- 新たな課題や対象者への啓発を進める。

ありがとうございました

